

企業の知恵を、次なる成長の原動力へ

# 自律型エンタープライズを実現するAI実行基盤

## 自律型エージェント（エージェント型AI）の時代 到来：AIに「任せる」という選択

これまでのAIは、人間が与えたプロンプトに対してテキストや画像を生成する「受動的なツール」でした。これに対し、自律型エージェント（エージェント型AI）とは、特定の目標を与えられると、自ら「推論」「計画」「実行」を行い、最小限の人間による介入でタスクを完結させる次世代のAIシステムを指します。

自律型エージェントは、24時間365日休むことなく、変化するビジネス環境に適応しながら行動し続けます。単なるコンテンツ生成を超え、複雑な多段階の業務フローを自律的に処理するその姿は、AIの活用フェーズが「実験（PoC）」から、具体的な利益を生む「実務の自動実行」へ移行したことを象徴しています。

## 自律型エンタープライズ： 組織全体が知能を持ち、自ら成長する

自律型エージェントが普及する中で、企業が目指すべき最終的な姿は、組織全体が知能を持ち、自律的に成長する「自律型エンタープライズ（Autonomous Enterprise）」です。

**意思決定の高速化：**2028年までに、日常的な業務上の意思決定の少なくとも15%が自律型エージェントによって自動的に行われるようになると予測されています。

**「アクション」への直結：**洞察をダッシュボードに留めるのではなく、不正検知時の即時取引停止やサプライチェーンの自動発注といった、リアルタイムのビジネスアクションへと変換します。

**ナレッジの資産化：**組織内の膨大なデータ、プロセス、さらには熟練者の暗黙知までもが「ナレッジファブリック」として統合され、AIが参照可能な組織の共通言語となります。

## なぜデータではなく 「ナレッジ（知識）」が成功の鍵なのか

自律型エージェントを動かすために、データは不可欠です。しかし、生データを単にAIに与えるだけでは、ビジネスの現場では機能しません。自律性の鍵となるのは、データに意味を与えた「ナレッジ（知識）」です。

**データとナレッジの決定的な違い：**単なる数値やログの集積である「データ」に対し、「ナレッジ」とはビジネスの文脈（コンテキスト）、業務プロセス、社内ポリシーまでもが編み込まれたものです。

**ハルシネーションの防止：**ナレッジという裏付けがないAIは、もっともらしい嘘（ハルシネーション）をつき、組織の目標から逸脱するリスクを抱えます。

**コンテキストエンジンの役割：**あらゆるAIモデルにビジネスの文脈を供給するエンジンが必須です。ナレッジによってAIを制御することで、初めて「自律的な判断権限」を安全に委ねることが可能になります。

## 突き当たる「95%の壁」を突破する： 本番移行を拒む4つの深刻な障壁

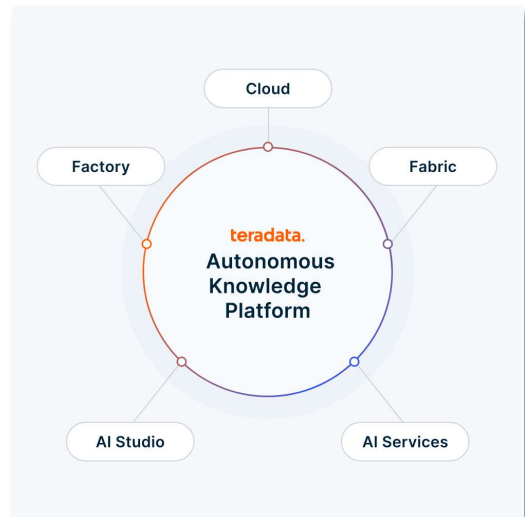
MITのレポート<sup>\*1</sup>によると、AIプロジェクトの95%が期待された価値を提供できずに失敗しています。Gartner社は、2025年6月25日に2027年末までに過度な期待の中で生まれるエージェント型AIプロジェクトの40%以上が中止されるとの見解を発表<sup>\*2</sup>しています。Teradataは、100を超えるAIプロジェクトの経験から、その原因を以下の4つの課題に集約しました。

- 1. 予測不能なコスト：**自律稼働によるクラウドコストの爆発的増大が、本番化を躊躇させる最大の要因です。
- 2. 信頼の欠如：**ガバナンスが不十分なため、AIの暴走や不適切な判断を恐れて投入ができません。
- 3. ナレッジのサイロ化：**PDFなどの非構造化データと基幹データが分離され、一貫した文脈を持っていません。
- 4. 運用の不透明性：**AIが「なぜそのアクションをとったのか」を説明する仕組みが欠如しています。

## すべての課題を解決する実行基盤： Teradata Autonomous Knowledge Platform

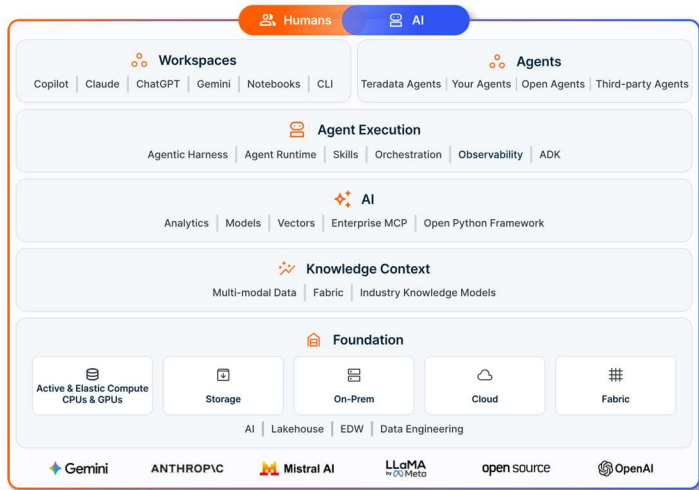
これらの障壁を突破し、AIをPoC（実証実験）から「ビジネス成果を生む本番環境」へと引き上げる包括的ソリューションが、Teradata Autonomous Knowledge Platformです。世界トップクラスの分析性能とAIエージェントのライフサイクル制御を統合し、コスト効率高く信頼性の高い自律型システムを構築できます。

本プラットフォームは、柔軟な選択を可能にするクラウド版Teradata Cloudとオンプレミス版Teradata Factory、信頼のナレッジを供給するTeradata Fabric、AIの統合管理を担うTeradata AI Studio、そして導入から本番運用までを支えるコンサルティングサービスTeradata AI Servicesで構成されます。これらが有機的に結合し、AIエージェントが真に自律するための強固なインフラを提供します。



## AIエージェントの活動を前提に設計された、次世代のインフラストラクチャ

Teradata Autonomous Knowledge Platformは、AIを単なる「対話の相手」としてではなく、企業の目標に向かって自律的にタスクを遂行する「AIエージェント」の実行基盤として、初めからデザインされています。



### 24時間365日のAIエージェントの自律稼働を、圧倒的な低コストと信頼性で両立：

数十億件のデータを瞬時に処理する大規模並列処理（MPP）技術と、ミッションクリティカルな業務とAIクエリを単一システム内で最適に共存させる混合ワークロード管理により、リソースの無駄を徹底的に排除します。また、常時稼働エージェント向けの「Active」と需要に応じる「Elastic」を使い分けるActive & Elastic Computeが、自律型AI特有のコスト増大を防ぎ、価格性能比を最大化します。

### 機密データを守り抜き、自社専用の「主権を持つAI」を確立するオンプレミスの選択肢：

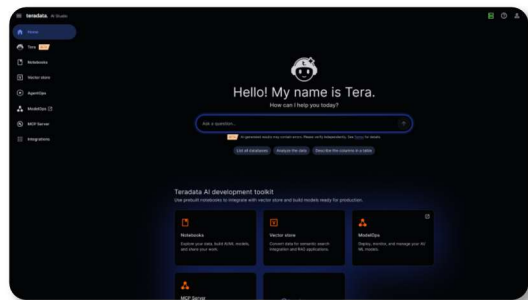
主要なパブリッククラウド環境で稼働するTeradata Cloudに加えて、DellおよびNVIDIAとの強力な協業により、オンプレミス完結型の提供形態であるTeradata Factoryを提供します。機密データを社外に出すことなく（ソブリンAI）、Dell PowerEdgeサーバとNVIDIAの最新GPUインフラを活用した最高速かつセキュアなAI環境を自社内でコントロール可能です。



### あらゆるマルチモーダルデータを「知識」に変え、ハルシネーションを抑制：

各種ドキュメント、PDF、画像、音声、動画などの非構造化データ（マルチモーダル）を、基幹システムの構造化データと同じ場所で直接分析することで、究極のハイブリッドRAGを実現します。さらに、AIエージェントがデータを移動させず、必要な文脈へ、セキュアかつダイレクトにアクセスできるTeradata Enterprise MCP Serverにより、事実に基づいた正確な意思決定が可能になります。

高度な専門性を持つAIエージェントを、誰でも迅速に構築・運用：ノーコード/プロコード両対応のAgentBuilderにより、特定の専門知識を持つエージェントを迅速に構成できます。また、自律型ワークスペースTeraを通じ、管理者が自然言語で意図を伝えるだけで、エージェントが複雑なデータ分析や業務プロセスの自動化を即座に代行します。



### AIの「判断の根拠」を完全に可視化し、法的・倫理的な説明責任を完遂：

AgentOpsによる推論プロセスの監視に加え、独自のTime Travel機能を提供します。これにより、特定の決定が下された瞬間のデータ状態を過去に遡って検証できるため、自律型システムにおけるフォレンジックな透明性と監査対応能力を保証します。

### 実験から大規模な本番運用まで、AI資産の品質とガバナンスを維持：

モデルのライフサイクル全体を一元管理する包括的な機能を提供します。ModelOpsによる自動デプロイ、全社的なAI資産を再利用可能な形で管理するModel Catalog、そして大規模言語モデルの運用を最適化するLLM Opsを包含し、モデルの劣化（ドリフト）監視や再学習、ガバナンスを効率化します。

### 業界トップクラスの専門知識を即座に付与し、導入初日から成果を創出：

40年以上にわたる知見を凝縮した業界別データモデル（industry Data Models）を提供。各業界のビジネスロジックを導入初日からAIエージェントに継承させることで、ゼロからの開発期間を大幅に短縮し、本番展開を加速させます。

## 実証されたビジネスインパクト

国内外の大手企業で活用され、ビジネス成果に貢献しています。

**金融サービス：** 日常的なアドバイザー業務の最大40%をAIエージェントが自動化。人はより高度な顧客対応に集中。

**ヘルスケア：** 臨床データ、画像、信号を統合分析。再入院率を25～30%削減することに成功。

**製造：** 設計書のベクトル化とIoTデータの統合により、技術クエリへの即時回答を実現。R&Dの生産性を飛躍的に向上。

## Teradataについて

Teradataは、深いビジネスコンテキストと信頼性の高いデータに基づき、AIが導き出す「知見」を、自律的な「実行」へ変換する力を企業に提供します。AIエージェントが普及する中、Teradata Autonomous Knowledge Platformは、企業に不可欠なコンテキストエンジン、ガバナンスレイヤー、そして圧倒的な処理能力を誇る実行基盤を実現します。クラウド、オンプレミス、ハイブリッドのあらゆる環境において、AIの実用化と本番運用を強力に支援し、ビジネスの未来を切り拓きます。

Teradataのロゴは商標であり、TeradataはTeradata Corporationおよびその関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。Teradataは、新しいテクノロジーやコンポーネントの登場に合わせて製品の改善を継続しています。このため、Teradataは、各種仕様を事前の通知なく変更できる権利を持つものとします。地域や市場によっては、本書に記載されている機能、仕様、動作の一部を利用できない場合があります。詳細については、Teradataの営業担当者、または [www.teradata.jp](http://www.teradata.jp) よりお問い合わせください。